

**製品名: Bad Rabbit モノクローナル抗体****カタログ番号: AMRe01709**

研究使用のみ

**概要**

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,IP
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.3mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:1000,IHC 1:50-1:100,ICC/IF 1:50-1:200,IP 1:20-1:50
分子量	Calculated MW: 18 kDa; Observed MW: 23 kDa

**抗原情報**

遺伝子名	BAD
別名	BAD; BBC6; BCL2L8; Bcl2 antagonist of cell death; BAD; Bcl-2-binding component 6; Bcl-2-like protein 8; Bcl2-L-8; Bcl-XL/Bcl-2-associated death promoter
遺伝子 ID	572
SwissProt ID	Q92934
免疫原	標的タンパク質に対応する合成ペプチド

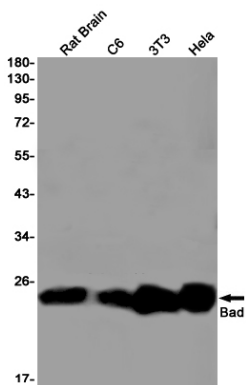
**背景**

細胞死を促進する。Bcl-X(L)、Bcl-2、Bcl-W との結合を競合し、これらのタンパク質と BAX のヘテロ二量体形成レベルに影響を与える。Bcl-X(L)の細胞死抑制活性を逆転させることができるが、Bcl-2 の細胞死抑制活性は逆転させない（類似性に基づく）。増殖因子受容体シグナル伝達とアポトーシス経路を繋ぐ役割を果たすと考えられる。

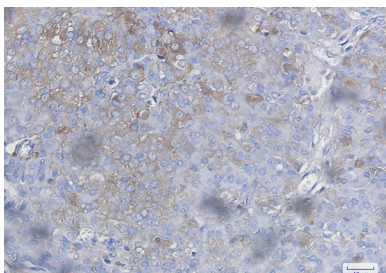
## 研究分野

細胞生物学

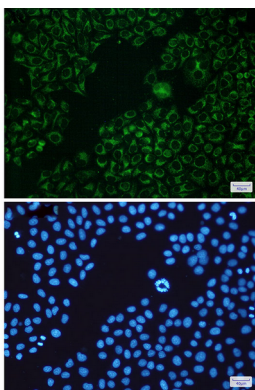
## 画像データ



Bad 抗体を使用したラット脳、C6、3T3、Hela 溶解物中の Bad のウェスタンブロット分析。



Bad 抗体を使用したパラフィン包埋ヒト乳がんの免疫組織化学分析。抗原賦活化には高圧高温クエン酸ナトリウム pH 6.0 を使用しました。



Bad 抗体と DAPI (青) を用いた HeLa 中の Bad (緑) の免疫細胞化学分析